



伊崎田学園に関わる「ヒト・モノ・コト」は、いつもつながっていて、子どもたちの幸せを願っています。そんな思いからのキャッチフレーズ「いつもつながる。」です。

新校舎の足場が外れて(11月15日)

新校舎の足場が取れて、その堂々とした姿がくっきりと現れました。今朝は本当に感動的な瞬間でした。

先日、古希(70歳)の祝いで来校された先輩方が、懐かしそうに校舎を見上げながら、「私たちが3年生のときにこの校舎ができたんだ」と、当時を思い浮かべながら感慨深げに語っておられました。あれから半世紀という歳月が流れた今も、その時の記憶は鮮明に心に残っているのでしょうか。そして、その貴重な体験を、今まさに、目の前の子どもたちができるのです。

今後100年、いや、それ以上使い続けていくであろう建物が、基礎から組み上がり、形を成していく過程を、この目でしっかりと見届けることができるは、まさに今この時しかありません。完成してしまえば、もう二度と見ることのできない風景なのです。

数十年後、子どもたちが先輩方のように母校を訪れたとき、「あの時、新しい校舎ができていく様子を毎日見ていたんだ」と、誇らしげに語れる日が必ず来るはずです。

音楽がつなぐ子どもたちの心(12月1日)

先週金曜日、3・4年生の本番の発表を見て、涙腺が崩壊してしまいました。正直に言うと、少し心配していました。しかし、子どもたちは、練習で積み重ねてきたすべてを、あの舞台で見事に出し切ったのです。一人ひとりの表情には自信が満ち、体全体でリズムを刻む姿は、まさに音楽そのものでした。

そして翌週、廊下の向こうから「お茶、お茶、お茶漬け」という軽快なリズムが聞こえてきました。歌っていたのは、なんと1年生の子どもたちでした。きっと、お兄さんお姉さんたちが一生懸命練習する姿を見て、全校集会での堂々とした発表を聴いて、いつの間にか心に刻まれていたのでしょうか。

これこそが「音楽の力」なのだと、改めて感じた瞬間でした。

音楽は、学年を超えて子どもたちの心をつなぎます。1年生は憧れの眼差しで上級生を見上げ、「2年後には自分たちもあんな風に発表するんだ」と未来の自分の姿に思いを馳せたことでしょう。そして、小さな胸に希望と期待の種が蒔かれていくのです。

やさしさの連鎖(11月18日)

木曜日はあいにくの雨で、1・2年生の生活科探検で志布志高校での松ぼっくり拾いが心配でしたが、志布志高校のみなさんが「明日は雨だろう」と事前に拾っておいてくださいました。なんというやさしさでしょう。

翌金曜日は好天で、3・4年生は思う存分活動できました。そして月曜日、1年生の教室前にどんぐりの袋が置いてありました。「これどうしたの?」と聞くと、「3年生からもらいました。拾ってきてくれました」と教えてくれました。雨で十分に活動できなかった1年生のために、3年生が拾ってきてくれたのです。これまた、なんというやさしさでしょう。

このやさしさを、伊崎田小では連鎖させていきます。

※この記事は、学校ブログに掲載した内容を再編集したものです。校長 大山

平和への願い

～市戦没者追悼式～

10月25日(土)に、市戦没者追悼式にて、全校児童と保護者が折った折り鶴を、柿元侑貴奈さんが代表して有明町戦没者慰靈塔に献納し、牧之瀬楓さんと八代ちえりさんが平和へのメッセージを読みました。3名は、立派な態度で式にのぞみ、平和の尊さを学ぶことができました。

【代表児童の作文】

今年の夏休み、お父さんが広島に連れて行ってくれました。今年は戦後八十年と聞いていたので、自由研究で戦争について調べてみることにしました。

私は戦争のことを考えるのが嫌いです。とても悲しい気持ちになるからです。でも、今年の夏休みは、戦争についていろいろ考えてみました。私は、原爆ドームを見た瞬間、今まで感じたことのない異様な何かを感じました。それは戦争へのはかりしれない「きょうふ」でした。原爆ドームへ行くのは、今回で二回目でした。一回目は小さかったのでよく覚えていませんでしたが、「こわい」という感情だけは覚えていました。幼かった私でさえ、戦争や原爆のおそろしさを感じ取っていました。

戦争はおそろしいものです。国を守るためと言って戦場に向かい、命を落としたたくさんの人々。命は助かったけれど、体にも心にも大きな傷を負った人々。生きて帰ることを願はずつと待っていた家族…。そんなことを考えただけで胸がいっぱいになりました。どうして手を取り合っていけないのでしょうか。どうして相手の気持ちを思いやることができないのでしょうか。人を殺し合い、傷つけ合い、血や涙を流していく…そんなことをしないとこの世界は成り立たないのでしょうか。

子どもの私には、まだ世界を変える力はありません。でも、自分の周りにいる人たちに優しくすることが世界平和への第一歩になると思って頑張ってみたいと思います。そして、八十年前の悲劇を次の世代に伝えていき、同じあやまちをくり返さないようにしたいです。

伊崎田小学校6年 牧之瀬 楓

戦争が終わって八十年がたちました。そのことを知り、私は戦争について調べてみることにしました。戦争中、日本では、たくさんの人のがけがをしたり、町がこわされたりして、みんな苦しい毎日を過ごしていたそうです。

私たちの住んでいる志布志でも、沖縄戦の後、アメリカ軍が海から上陸しようとする作戦があったそうです。作戦が決行される前に戦争は終わったそうですが、もし、志布志の海からアメリカ軍がせめてきていたら、たくさんの人が亡くなり、私も今ここにいなかつたし、私の家族も存在しなかつたかもしれないと思うと、つらい気持ちになります。

戦争が終わった後、あきらめずに協力して、町を直したり、新しい仕事を見つけたりして、少しずつ生活を良くしていきました。たくさんの人の努力のおかげで、今の日本は、学校に行ったり友達と遊んだりして、安心できるような平和な日々を送れるようになりました。けれども、戦争のことを忘れてしまうと、また同じようなことが起こるかもしれません。だから、私たちが、戦争の話を聞いたり、本を読んだりして、戦争のおそろしさや平和の大切さを学んでいくことが大事だと思います。これからもずっと平和な世界が続くように、みんなで考えていきたいです。

伊崎田小学校6年 八代 ちえり



【平和作文朗読】



【参列した6年生皆さん】



【平和を願って】

12月の行事予定

- 7日(日) ANYTHING GOES FESTIVAL 2025
8日(月) 校内人権週間(13日まで)
10日(水) 人権集会(5校時)
12日(金) がんがら号来校
13日(土) 持久走大会

- 16日(火) 持久走大会予備日
21日(日) 門松づり(伊崎田学園PTA総務部他)
24日(水) 2学期終業式(給食なし)
26日(金) 仕事納め
大晦日～元旦 白鳥神社元旦祭
(希望者: 神輿・干支交換儀式参加予定:
白鳥神社: 23:15集合)



伊崎田の教育週間の取組

☆自由参観(11/4~7)

本年度は、午前中の自由参観を実施しました。来校された保護者や関係機関の皆様には、授業を参観しアンケートを記入していただきました。いただいたご意見は、今後の学校経営へ生かして参ります。

☆読書祭り(10/23)

市立図書館の職員3名をお招きし、読書祭りを行いました。多読者表彰の後、全校児童への読み聞かせ等をしていただきました。大きなしきけ絵本、大型絵本、紙芝居、パネルシアターなどの方法で、いろいろな話を紹介してもらいました。本の世界に浸り、ほっとする時間を過ごすことができました。



【市立図書館の皆様方】



【パネルシアター】

☆避難訓練(11/5)

今年度も市の津波防災訓練に合わせて、津波避難訓練を行いました。雨模様のため体育館への避難となりました。市の指定時刻の午前10時は、休み時間ということで休み時間における避難の仕方を学習しました。緊急地震速報が鳴ると、近くにいる先生の指示に従い、机の下に身を隠すなどして揺れの収まりを待ちました。揺れが収まることを確認した後、体育館に避難しました。

避難完了後に事後指導を行い、校長先生から「避難の時には、最終的には自分でよく考えて動くことの大切さ」について話がありました。常日頃から、身の回りの危険を察知し、行動できる危険予知能力の育成に取り組んでいきます。

☆令和7年度地域が育む「かごしまの教育」県民週間最優秀賞授賞式(11/6)

11月6日(木)、県教育委員会、大隅教育事務所、志布志市教育委員会、そして全校児童が参加して、「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」最優秀賞(標語の部)の授賞式が行われました。

3年生の溝上新さんが、県教育委員会の堀江美智代教育委員より表彰されました。大きな大きな賞状をいただき、その賞の重さを改めて感じることでした。溝上新さん、改めて、最優秀賞受賞おめでとうございます。



【参加者の皆様と一緒に】



【参加者の皆様と一緒に】

青島青少年自然の家 ～楽しかった宿泊学習～

10月29日(水)・10月30日(木)に5・6年生合同の集団宿泊学習を行いました。場所は、「宮崎県青島青少年自然の家」で実施しました。

1日目は、「しおかぜ追跡ハイキング」を行いました。青島の自然を生かしたオリエンテーリング活動でした。班の仲間と協力しながらゴールを目指しました。夜は、「ナイトウォーク」に挑戦。往復6.5キロを2時間弱掛けて友達や先生と語らいながら歩きました。海からの気持ちよい秋風を浴びながらの夜のウォーキングとなりました。2日目は、フィールドアスレチックにチャレンジ。たくさん整備されたアスレチックにいどみました。カヌー等の水の活動もできるようになっており子ども達も大喜びでした。

この集団宿泊学習で、「規律・協同・友愛・奉仕」そして感謝の精神を学びました。この2日間を通して、規律を守り、仲間と協力し奉仕することの大切さを感じました。参加児童24名全員がこれらを自覚しながら行動できていたと思います。保護者や自然の家の関係者の皆様に感謝する気持ちも大切にしていました。今回の集団宿泊学習での学びを今後の学校生活や日常生活に生かして欲しいです。「青島青少年自然の家」の皆様ありがとうございました。

(児童の感想)

1日目は、「しおかぜ追跡ハイキング」や「ナイトウォーク」をしました。追跡ハイキングは、みんなでミッションをクリアしながら楽しくハイキングができました。ナイトウォークでは、みんなで懐中電灯を持って友達と話しながら青島まで行きました。2日目は、「フィールドアスレチック」がありました。一番楽しかったのは、水の上に浮かんだ足湯がゆれる「霧島おろし」です。もうあっという間に時間が過ぎて帰る時間になりました。私がこの宿泊学習で学んだことは、集団生活はみんなで協力するだけじゃなくて、時間を守らないといけないことも大切だと思いました。とても楽しかったです。



【青島青少年自然の家にて みんなで記念撮影】

- 第17回かごしまジュニア検定
合格 6年 牧之瀬 楓
- 第68回県児童生徒作文コンクール
入選 3年 井畑 怜



【しおかぜ追跡ハイキング】



【しおかぜ追跡ハイキング】



【フィールドアスレチック】



【レストランでの食事】

1・2年生 生活科見学

11月13日(木)、1・2年生が生活科見学にバスを使って行きました。最初に岳野山展望台を見学し、次に志布志高校で松ぼっくりを拾いをし、帰りに志布志運動公園体育館で運動をして帰ってきました。

あいにくの天候となりましたが、展望台で眺望を眺め、自分の干支の石像の前で写真撮影をしました。志布志高校では、小雨の降る中、大きな大きな松ぼっくりをたくさん拾って大喜びでした。

最後の目的地は、雨のため大浜緑地公園から志布志体育館に変更となりましたが、広い体育館でさまざまな運動や遊びをして満足の1日でした。



【岳野山展望台にて】



【松ぼっくり拾い】

3・4年生 社会科見学

11月14日(金)、3・4年生が社会科見学にバスを使って行きました。行きは、市から委託されたバス会社のバスで志布志消防署へ行き、次に「ダイレックス」でスーパーマーケットについて学びました。その後、大浜緑地公園へ移動して、昼食を食べたり遊んだりして過ごしました。

帰りは、路線バスに乗って伊崎田小学校まで帰ってきました。消防署やダイレックスの職員の皆様、市の委託バスや路線バスの運転手さんなどたくさんの方々のおかげで充実した社会科見学となりました。関係の皆様ありがとうございました。



【ダイレックスにて】